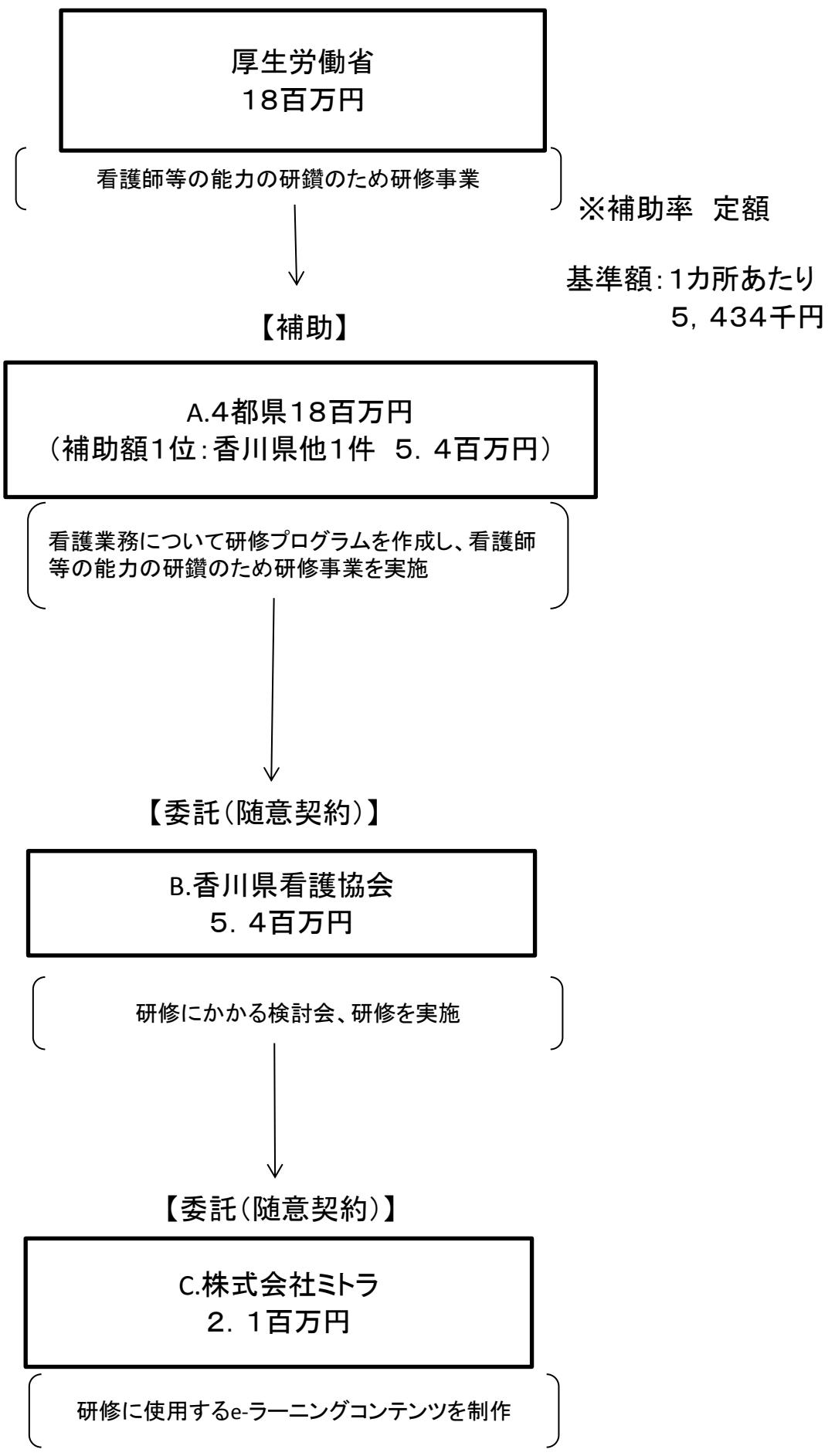


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	協働推進研修事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～	担当課室	看護課	課長:岩澤和子			
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年12月28日医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について」で示された、専門職がその専門性を発揮するために強化すべき看護業務について、看護師等の研修の場を確保し、チーム医療を推進するための医師と看護師等の協働と連携を推進し、医療提供体制の充実を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県において、薬剤の投与量調節、療養生活指導、インフォームドコンセント、トリアージ等の役割分担が求められる看護業務について研修プログラムを作成し、看護師等の能力の研鑽のため研修事業を実施する。 補助先:都道府県 基準額:5,434千円 補助率:定額						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	102	27	250億円の内数	227億円の内数	171億円の内数
		補正予算					
		繰越し等					
		計	102	27	250億円の内数	227億円の内数	171億円の内数
	執行額	24	20	18			
執行率(%)	23.5%	74.1%	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研修受講者数	成果実績	人	656	996	625	-
		達成度	%		-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研修を実施した都道府県数	活動実績 (当初見込み)	都道府県数	5	5	4	-
					(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	28,878(円/人)	算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X…補助金の執行額(24年度) Y…研修受講者数(24年度) 17,500,000円/606人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	補助金	227億円の内数	171億円の内数	-			
	計	227億円の内数	171億円の内数				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 点	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	看護ケアの質の向上が求められる昨今、医師・看護師等の協働、連携を促進することは、現在の医療提供体制の確保に必要であり、国民のニーズが高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	看護職員の資質向上のための研修は「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うため。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	看護職員の資質向上のための研修は「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっており、優先度が高い。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	補助事業の基準額は必要最低限であり、国が補助すべき以上の額については受益者負担となっている。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	補助事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であり水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	補助事業の実施に当たっては都道府県が自前で行うか、委託を行う場合でも規定に則り委託を行っているため適正に実施している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	講師謝金等の教育研修を行うのに必要な経費のみを対象としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	都道府県において研修プログラムを策定することから、補助事業で実施することが最も効果が高いと考える。受講者が増加していくことにより、質の向上につながっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点 検 結 果	当事業は、実施した都道府県は少ないが、チーム医療を推進していく中で、「専門性の向上」「役割の拡大」「各医療スタッフ間の連携・補完」等、他職種との協働を習得する事業であり、必要な不可欠の事業である。施策の推進のため今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。				
	外部有識者の所見				
事業効果を評価するため成果指標の設定を検討すること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
の 事 改 善 本 全 的 体	協働推進研修事業については、成果目標、成果指標を踏まえた見直しの観点から、成果目標、成果指標を定量的に設定すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
改 善 等	成果目標、成果指標について定量的に設定した。				
備考					
<p>○事業仕分け第1弾 平成21年11月12日 事業番号:2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」 評価結果:予算要求の縮減(半額) とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考え。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾 平成22年11月16日 事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろ議論があったので、減らす方向での対応をしっかりとやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	69	平成23年	0059	平成24年	024-19

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.香川県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	香川県看護協会へ委託	5.4			
計		5.4	計		0
B.香川県看護協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	職員給与費	0.9			
報償費	講師等謝金	1			
旅費	講師等旅費	0.1			
耐用費	消耗品費等	0.1			
役務費	通信運搬費等	1.2			
委託費	eラーニングコンテンツ制作を委託	2.1			
計		5.4	計		0
C.株式会社ミトラ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	eラーニングコンテンツ制作費	2.1			
計		2.1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	香川県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	5.4		
1	東京都	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	5.4		
2	兵庫県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	3.9		
3	茨城県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	2.7		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	香川県看護協会	研修にかかる検討会、研修を実施	5.4	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ミトラ	研修に使用するe-ラーニングコンテンツを制作	2.1	随意契約	